

いきいき

令和2年1月10日

正保だより

努力点特集号4

名古屋市立正保小学校

今年度も「授業の主演は自分」進んで学習に取り組む正保っ子を目指して～「なるほど」「わかった」の音が響く数学的活動を通して～」というテーマで、学校努力点を進めています。今号では、10月・12月に行った各学級の授業の様子をお知らせします。

あおぞら2組 算数科「いろいろなかたち」の様子（10月30日）

本時のめあて「写した形が何に見えるか考えよう」を示し、積み木や立体模型の面を画用紙に写し取り、その形が何に見えるかを考えることができるようにしました。

今回の授業では数学的活動として、写し取った形が日常生活上の何に見えるかを考えて、絵で表現するようにしました。子どもたちは、三角形からおにぎりの絵や、円の形からお月見の絵を描くなど、写し取った形の特徴を捉えて表現することができました。



【形を組み合わせる様子】

その後、円、三角形、四角形を組み合わせ、どんな絵ができるのかを考え、発表し合いました。子どもたちからは、円と四角形を組み合わせた「自動車」や「信号」、円と三角形を組み合わせた「アイスクリーム」など、たくさんの考えが挙げられました。友達の考えを見たり、聞いたりしたことで、「面白いね。」や「次はぼくもまねしてみたい。」などのつぶやきも見られました。

【担任の工藤先生の感想】

子どもたちが、写し取った形から表現した絵や円、三角形、四角形を組み合わせでつくった絵がとてもユニークなもので感心させられました。子どもたちが自信をもって自分が考えた絵を発表する姿や、友達の発表から新たな考えに気付く様子から、大きな成長を感じました。

6年2組 算数科「場合を順序よく整理して」の様子（12月11日）

本時のめあて「落ちや重なりがないように並べ方を考えよう」を示し、「じゃんけんゲーム」を通してグー・チョキ・パーを並びかえ、どのような出し方があるのか樹形図に表しました。樹形図をかくことで、何通りの並べ方があるのかを求めることができました。その後、「ラッキーナンバーゲーム」を行い、「1」「3」「5」の3つの数字を並べかえて3桁の数字をつくりました。



【自分の考えを伝え合う様子】

今回の授業では数学的活動として、樹形図のかき方を伝えたあと、一人一人が樹形図のかき方を考えるようにしました。また、樹形図を基に、グループで考えを伝え合う時間をもちました。

考えを伝え合う時間には、「はじめに「1」がくるものから考えると分かりやすいよ。」「小さい数字から順番に考えていくといいよね。」と考えたことを伝え合うことができました。

【担任の前田先生の感想】

最後には、3つの数字を繰り返し使って良いことにし、難しい問題に取り組ませました。難しい問題でも、「正解したい！」と意欲的に問題に取り組む様子に感心しました。グループで話し合う場面では、自分の考えを基に積極的に発言している子どもたちが多く、4月からの成長を感じました。